

質問書に対する回答書 一覧表

工事名】道東自動車道 新得工事

番号	回答日	図書の区分	項目	質問事項	回答
1	R3.9.27	01_入札公告(説明書) P7	4-2.技術評価の評価項目等 「トンネル覆工コンクリート」	入札説明書、4-2.技術評価の評価項目等より、「トンネル覆工コンクリート施工時(「打ち込み」、「養生」)における品質向上」について、「トンネル覆工コンクリート」には、避難連絡坑の覆工コンクリートも含まれるのか、ご教示願います。	「トンネル覆工コンクリート」とは本坑及び避難連絡坑の覆工コンクリートも含まれます。ただし本坑の覆工コンクリートのみ適用される技術提案項目も考えられるため、避難連絡坑に関する提案を含む場合は、その旨を技術提案書に記載してください。
2	R3.9.27	01_入札公告(説明書) P7	4-2.技術評価の評価項目等 「トンネル覆工コンクリート」	入札説明書、4-2.技術評価の評価項目等より、「トンネル覆工コンクリート」のコンクリート種別について、標準部および非常駐車帯部(坑門工除く)は「T3-4」、避難連絡坑は「T1-4」でよろしいでしょうか。	そのとおりです。
3	R3.9.27	01_入札公告(説明書) P7	4-2.技術評価の評価項目等 「トンネル覆工コンクリート」	入札説明書、4-2.技術評価の評価項目等より、トンネル覆工コンクリート施工時「打ち込み」について、「生コンクリートの運搬」や「締固め」に関する提案は「打ち込み」に含まれるのでしょうか。ご教示願います。	「打ち込み」は、型わくと吹付けコンクリートの空隙に、覆工コンクリートを充填させる作業として、生コンクリートの運搬、打設、締固め等が含まれます。
4	R3.10.5	01_入札公告(説明書) P7	4-2.技術評価の評価項目等 「トンネル覆工コンクリート」	入札公告書 4-2技術評価の評価項目等 評価項目①のトンネル覆工コンクリートについて、坑門工(東側18m+西側0.8m)は、提案対象外と考えてよろしいでしょうかご教示願います。	そのとおりです。
5	R3.10.6	01_入札公告(説明書) P7	4-2.技術評価の評価項目等 「トンネル覆工コンクリート」	入札公告 P7 第4 総合評価方式 4-2.技術評価の評価項目等 ①トンネル覆工コンクリート施工時(「打ち込み」、「養生」)における品質向上 「打ち込み」には、締固め作業を含むと考えてよろしいでしょうか。ご教示ください。	「打ち込み」は、型わくと吹付けコンクリートの空隙に、覆工コンクリートを充填させる作業として、生コンクリートの運搬、打設、締固め等が含まれます。
6	R3.9.27	01_入札公告(説明書) P7	4-2.技術評価の評価項目等 「下部工施工時」	技術提案の評価項目「供用中路線(道東自動車道)に近接して行う下部工施工時における一般走行車両に対する安全対策」について、特記仕様書11-2において「監督員が必要と認め指示した作業・期間」で実施する「冬季休止期間」を対象とした提案は、評価の対象となるのでしょうか。ご教示願います。	橋梁下部工工事関連の作業は冬季休止期間中の作業としておりませんので、冬季休止期間を対象とした提案は評価の対象外です。

工事名】道東自動車道 新得工事

番号	回答日	図書の区分	項目	質問事項	回答
7	R3.10.14	01_入札公告(説明書) P7	4-2.技術評価の評価項目等 「下部工施工時」	技術提案について 技術提案評価項目「②供用中路線(道東自動車道)に近接して行う下部工施工時における一般走行車両に対する安全対策」について、一般走行車両への影響が間接的にでも示すことができる提案であれば、評価の対象としていただくことは可能でしょうか。ご教示ください。	提案された下部工施工時における安全対策が、供用中路線(道東自動車道)を走行する一般走行車両に間接的に影響すると評価者が判断した場合は、評価の対象となります。
8	R3.9.27	01_入札公告(説明書) P7	4-3.技術提案書の作成 「下部工施工時」	入札説明書、4-3.技術提案書の作成より、「下部工施工時」の定義に「構造物掘削」「裏込め土工」が含まれています。これらの作業で実施する構造物掘削での掘削土運搬、裏込めのための「客土掘削A」での土運搬時の安全対策は、当該項目の提案対象として認められるのでしょうか。ご教示願います。	下部工施工時における土運搬時の安全対策が、供用中路線(道東自動車道)を走行する一般走行車両を対象とする事項であれば提案対象として認めます。
9	R3.9.27	01_入札公告(説明書) P7	4-3.技術提案書の作成 「下部工施工時」	入札公告書 P7 4-3技術提案の作成 作成にかかる留意事項に、『技術提案項目②における「下部工施工」とは、「構造物掘削(土留め工含む)～基礎工～下部工本体施工～裏込め土工」の施工時～』と記載がありますが、以下の工種は、該当しないものでしょうかご教示願います。 ①基礎杭 ②洗堀防止対策工 ③仮設構造物工(仮設橋設置、施工ヤード造成)	基礎杭、洗堀防止対策工、仮設構造物工が、下部工施工に必要な項目であって、その安全対策が供用中路線(道東自動車道)を走行する一般走行車両を対象とする事項であれば提案対象として認めます。
10	R3.10.6	01_入札公告(説明書) P7	4-3.技術提案書の作成 「下部工施工時」	技術提案の評価項目 「供用中路線(道東自動車道)に近接して行う下部工施工時における一般走行車両に対する安全対策」について、橋桁や橋脚等の既設構造物への接触防止策を対象とした提案は、評価の対象となるのでしょうか。ご教示願います。	下部工施工時における安全対策の評価項目は、一般走行車両を対象としており、橋桁や橋脚等の既設構造物への接触防止策は評価の対象となりません。
11	R3.10.21	01_入札公告(説明書) P7	4-3.技術提案書の作成 「下部工施工時」	01_入札公告(説明書) 4-3.技術提案書の作成「下部工施工時」 技術提案書の評価項目 「供用中路線に近接して行う下部工施工時における一般走行車両に対する安全対策」について、既設橋脚、橋桁等の変状防止対策を対象とした提案は、評価の対象となるか、ご教示願います。	提案された下部工施工時における既設橋脚、橋桁等の変状防止対策が、供用中路線(道東自動車道)を走行する一般走行車両に対する安全対策と評価者が判断した場合は、評価の対象となります。 R3.10.6付け質問書に対する回答に記載しているとおり、橋桁や橋脚等の既設構造物への接触防止策は評価の対象となりません。
12	R3.9.27	01_入札公告(説明書) P7	4-3.技術提案書の作成 「過度なコスト負担を要する提案の取り扱い」	入札説明書、4-3.技術提案書の作成より、本工事における過度なコスト負担を要する提案の事例が記載されていますが、それに該当しない提案に関しては、金額の大小に関わらず過度なコスト負担を要する提案に該当しないと考えてよろしいでしょうか。	入札説明書4-3.技術提案書 作成にかかる留意事項「過度なコスト負担を要する提案の事例」に記載されているものは事例であり、記載されていない提案であっても、使用材料、施工方法等が過度にコスト負担を要すると評価者が判断した場合、過度のコスト負担を要しない提案より優位な評価とはしません。

工事名】道東自動車道 新得工事

番号	回答日	図書の区分	項目	質問事項	回答
13	R3.9.27	01_入札公告(説明書) P8	4-6.技術提案書の採否の確認等 「評価基準」	入札公告(説明書)、4-6.技術提案書の採否の確認等—(3)評価基準—評価基準-留意事項について、①では、提案書の一部が設計図書に適合しないか本工事で採用できない場合、当該技術提案を不採用とするとありますが、③では、一部を不採用とした場合、当該箇所を除いた記載内容で評価するとあります。 ①と③の違いをご教示ください。	①については、入札公告(説明書)、4-3技術提案書の作成 作成にかかる留意事項 に記載されている「複数の施工技術の組み合わせでなければ効果が発揮されないなど一体不可分であり、一般的にもその組み合わせで施工されている場合は当該技術提案を1つの施工技術で構成されているものと判断する。」場合の留意事項であり、③については、それ以外としております。
14	R3.9.27	01_入札公告(説明書) P8	4-6.技術提案書の採否の確認等 「評価基準」	入札公告(説明書)、4-6.技術提案書の採否の確認等—(3)評価基準—評価基準-留意事項について、⑩より、記載内容が複数提案と判断された場合は、その提案すべてが評価対象外と考えてよろしいでしょうか。	そのとおりです。
15	R3.9.27	02_申請書関係	様式2 「記載方法」	様式2 記載方法について 1. 企業評価 施工実績 同種工事a:は 'NATM工法により・・・施工延長700m以上あるトンネル工事'とあり様式2記載欄には '施工延長〇〇m'となっておりますが、施工実績が例えば掘削 800m、覆工コンクリート1,000mの場合、掘削実績800mを '施工延長 800m' と記載して宜しいでしょうか。ご教示願います。	企業評価 施工実績として評価する施工延長は掘削延長となります。 工事実績情報システム(CORINS)に登録されている工事におけるトンネルの場合は、掘削延長となる施工延長を記載してください。CORINSに登録されていない場合は、契約書、図面、特記仕様書等掘削延長が証明できるものを添付してください。
16	R3.10.21	02_申請書関係	技術提案書作成説明書	技術提案書作成説明書 1. 技術提案書の提出 作成ファイル名について 様式内容「技術提案意思確認書」のファイル名は、「様式-提案2_技術提案書(会社名)」となっておりますが、「様式-提案1_技術提案書(会社名)」ではないでしょうか。また、様式内容「技術提案書」についても同様です。ご教示願います。	技術提案書作成説明書 1. 技術提案書の提出に記載されている作成ファイル名については記載のとおり作成ください。
17	R3.9.27	02_申請書関係	技術提案書作成説明書 「文字について」	技術提案書作成説明書、5. 技術提案書の記載上の注意事項及び添付資料-(2)より、文字の大きさ10ポイント以上を順守すれば、フォント・文字色・行間・枠線・余白は変更可能と考えてよろしいでしょうか。ご教示願います。	判読可能であれば、フォント・文字色・行間・枠線は変更可能です。 但し、余白(四方 各12mm)については、変更を認めません。

番号	回答日	図書の区分	項目	質問事項	回答
18	R3.10.14	03_特記仕様書 P22	23-3 建設副産物の活用等 「コンクリート塊の数量」	特記仕様書P22 23-3 建設副産物の活用等 コンクリート塊 特記仕様書の合計数量では約130m ³ と記載されておりますが、設計図等の公告・閲覧資料では、くい頭処理(3箇所):193.6m ³ 、鏡吹付コンクリート:1,138.8m ³ 、構造物取壊し工:3.6m ³ となり、合計数量:1,336m ³ となります。記載されている数量内訳について、ご教示願います。	特記仕様書 建設副産物 コンクリート塊の数量には、鏡吹付コンクリートは特記仕様書30-6-1 トンネル掘削に記載のとおり、除去及び処分に要する費用は含まれていないことから、コンクリート塊の数量に含めておりません。 くい頭処理は割掛対象表の項目であり、設計図書に明示した条件により発注者が必要と考えた付属的な仮設物等の間接的な工事であり、発注者が指定仮設物として指定したもの以外は、受注者の責任において必要なものを定め施工していただくこととなります。したがって、くい頭処理数量は、貴社の施工計画に基づきお考えください。
19	R3.10.6	03_特記仕様書 P27	30-2-1 道路掘削、客土掘削 「土質区分」	2-(3)客土掘削 土砂A 新内土取場から発生する材料の土質区分について、ご教示願います。	数量明細書(参考)に記載のとおり、客土掘削 土砂Aの土質区分は「土砂B」を想定しております。
20	R3.10.6	03_特記仕様書 P28	3-2-3 高盛土排水工 「積算に用いる施工歩掛」	特-(1) 高盛土排水工 Du-Pφ0.60・1.20・1.20 積算基準の地下排水工(管布設)の施工歩掛には、管径φ500までしかありません。管径φ600の施工歩掛について、ご教示願います。	積算に用いる施工歩掛についてはお答えできません。御社の施工計画に基づき計上してください。
21	R3.9.27	03_特記仕様書 P31	30-2-5 構造物掘削 「区分内容」	特記仕様書30-2-5構造物掘削の区分内容には、構造物裏込め工及び構造物埋戻しに関する記載がないことから、発生土はすべて下部路体部へ流用すると考えてよろしいでしょうか。 また、構造物裏込め工および構造物埋戻しは、客土掘削土砂Aに記載されていることから、広内川橋下部工などの構造物の裏込め工及び埋戻しで使用される土砂はすべて新内土取場からと考えてよろしいでしょうか。	構造物掘削土は特記仕様書30-2-5構造物掘削に記載のとおり、本線盛土箇所下部路体へ流用としております。 構造物裏込め工B部、構造物埋戻し部は特記仕様書30-2-1 道路掘削、客土掘削に記載のとおり、客土掘削 土砂Aはすべて新内土取場からの施工となります。
22	R3.10.29	03_特記仕様書 P31	30-2-5 構造物掘削 「継杭箇所」	2-(6) 構造物掘削 特殊部B 特記仕様書P31-32(3)土留め工の種別の「構造物掘削 特殊部B」に普通鋼矢板IV型の継杭箇所が「1箇所または—」と記載されておりますが、【参考図】ペンケオタソイ川橋(下り線)P-1橋脚架設図6.7/7(参考図)を確認すると、CASE-5は3箇所、CASE-6は3箇所及び9箇所の継杭が必要と思われます。継杭箇所数について、ご教示願います。	継手の箇所数は参考図に記載の数量が正しい数量となります。

番号	回答日	図書の区分	項目	質問事項	回答
23	R3.10.29	03_特記仕様書 P31	30-2-5 構造物掘削 「積算に用いる材料単価」	2-(6) 構造物掘削 特殊部A 特記仕様書P31に記載の土留め工に使用する普通鋼矢板Ⅲ型(中古材)は、本工事において撤去となっておりますが、新材価格の90%での購入単価を計上されているということでしょうか。中古材単価の算出方法について、ご教示願います。	普通鋼矢板Ⅲ型は賃料となります。
24	R3.10.6	03_特記仕様書 P35	30-3-4 ドレーンかご工 「積算に用いる材料単価・積算に用いる施工歩掛」	特-(3) ドレーンかご工 ドレーンかご工(t=25cm) ドレーンかご形状は標準単価適用外であるため、材料単価・施工歩掛について、ご教示願います。	積算に用いる材料単価・施工歩掛についてはお答えできません。 御社の施工計画に基づき計上してください。
25	R3.10.21	03_特記仕様書 P36	30-4 基礎杭及びケーソン工 「施工方法」	03 金抜設計書 44 7-(1)基礎杭 場所打ちコンクリート杭(人力掘削、φ2.500)、45 7-(1)基礎杭 場所打ちコンクリート杭(人力掘削、φ4.500) 深礎工の軟岩・硬岩は、積算基準通り発破での施工とお考えでしょうか。ご教示ください。	人力掘削による場所打ちコンクリート杭 深礎工法の硬岩・軟岩の施工は、土木工事積算基準(令和3年度版(東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社))第17編基礎杭工4-3-2施工歩掛(1)土質分類においては土砂Ⅱ相当となり、発破での施工を想定しておりません。
26	R3.10.6	03_特記仕様書 P37	30-5-3 鉄筋工 「積算に用いる運搬内容」	8-(3)鉄筋 A1 市場単価適用の鉄筋工において、エポキシ樹脂塗装鉄筋の塗装工場からの運搬が別途必要と考えます。塗装工場からの運搬距離および運搬に用いるトラック等の規格について、ご教示願います。	8-(3)鉄筋A1は共通仕様書8-4鉄筋工に記載のとおり、運搬を含む単価となります。 なお、積算に用いる運搬についてはお答えできません。 御社の施工計画に基づき計上してください。
27	R3.10.21	03_特記仕様書 P43	30-6-6 計測工 「電源」	計測工C(内空変位測定、発破振動測定) 計測機器用のAC100V電源はI期線トンネルと別途で設置・撤去を行う事で宜しいでしょうか？若しくはI期線トンネル内のAC100V電源をお借りすることは可能でしょうか？	計測工Cに関してI期線トンネル内の電源は使用できません。特機仕様書30-6-6(6)に記載のとおり施工に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費を除く費用を含めて算出してください。
28	R3.10.14	03_特記仕様書 P48	30-8-4 仮設防護柵工 「積算に用いる材料単価」	特-(10)仮設防護柵工 設置工A 特記仕様書P48に記載の中古品は、新材価格の90%での購入単価を計上されているということでしょうか。中古品単価の算出方法について、ご教示願います。	発注者が想定している中古品の価格は土木工事積算基準(令和3年度版(東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社))第3編材料費 5. 仮設材料費に記載のとおり新品価格の90%を上限とし算出します。
29	R3.10.29	03_特記仕様書 P49	30-8-5 仮設目隠板工 「設置期間」	仮設目隠板工(設置工A、設置工B) 仮設目隠板工(設置工A)および仮設目隠板工(設置工B)は、設置のみで工事終了後は存置する考えで宜しいでしょうか。ご教示願います。	そのとおりです。

工事名】道東自動車道 新得工事

番号	回答日	図書の区分	項目	質問事項	回答
30	R3.10.14	03_特記仕様書 P49	30-8-5 仮設目隠板工 「積算に用いる材料単価」	特-(11)仮設目隠板工 設置工A 特記仕様書P49に記載の中古材は、新材価格の90%での購入単価を計上されているということでしょうか。中古材単価の算出方法について、ご教示願います。	発注者が想定している中古品の価格は土木工事積算基準(令和3年度版(東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社))第3編材料費 5. 仮設材料費に記載のとおり新品価格の90%を上限とし算出します。
31	R3.10.14	03_特記仕様書 P49	30-8-5 仮設目隠板工 「積算に用いる材料単価」	特-(11)仮設目隠板工 設置工B 特記仕様書P49に記載の中古材は、新材価格の90%での購入単価を計上されているということでしょうか。中古材単価の算出方法について、ご教示願います。	発注者が想定している中古品の価格は土木工事積算基準(令和3年度版(東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社))第3編材料費 5. 仮設材料費に記載のとおり新品価格の90%を上限とし算出します。
32	R3.10.29	03_特記仕様書 P50	30-8-6 仮設構造物工 「積算に用いる材料単価」	特-(12) 仮設構造物工 仮棧橋設置A 特記仕様書P50に記載の中古品は、新材価格の90%での購入単価を計上されているということでしょうか。中古品単価の算出方法について、ご教示願います。	発注者が想定している中古品の価格は土木工事積算基準(令和3年度版(東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社))第3編材料費 5. 仮設材料費に記載のとおり新品価格の90%を上限とし算出します。
33	R3.10.29	03_特記仕様書 P50	30-8-6 仮設構造物工 「積算に用いる材料単価」	特記仕様書 P.50 30-8-6 仮設構造物工 (3)材料 設計図書に示すものの他、使用する材料は、中古品の購入材とありますが、プレート及びボルト・ナット等の副部材についても、中古品で計上されているということでしょうか。副部材について、ご教示願います。	そのとおりです。
34	R3.10.29	03_特記仕様書 P50	30-8-6 仮設構造物工 「施工」	特記仕様書 P.50 30-8-6 仮設構造物工 (4)施工 施工箇所における工法について、KP3の鋼管杭φ609.6の杭打設工法の明記がありません。同部材の工法(ウォータージェット併用パイプロハンマ)と思われるのですが、KP3の打設工法について、ご教示願います。	KP3の施工はウォータージェット併用パイプロハンマ工法となります。
35	R3.10.14	03_特記仕様書 P56	30-11 週休2日推進工事に要する費用 「機械経費(損料)の稼働率補正」	特記仕様書P56 30-11 週休2日推進工事に要する費用 機械経費(損料)の稼働率補正について、稼働率を補正することにより、運転月数等が増減すると考えますが、一部の数量において、運転月数等が補正後の数量になっておりません。単価項目及び割掛項目すべての数量において反映されるのでしょうか。稼働率補正について、ご教示願います。	週休2推進工事に要する費用の稼働率における補正は、単価項目及び割掛項目すべての項目における機械経費(損料)を対象としています。なお、機械経費(損料)に用いる月平均標準運転日及び月平均標準休止日数、標準稼働率は30-11-1(3)に①土木工事積算基準 第7編 土工【A地区】、②土木工事積算基準 第7編 土工及び第19編トンネル工を除く各編、③土木工事積算基準 第19編トンネル工に記載しております。

工事名】道東自動車道 新得工事

番号	回答日	図書の区分	項目	質問事項	回答
36	R3.10.29	03_特記仕様書 P56	30-11 週休2日推進工事に要する費用 「機械経費(損料)の稼働率補正」	特記仕様書 P56 30-11 週休2日推進工事に要する費用 機械経費(損料)の稼働率補正について、割掛項目のダンプトラック運転費、吹付設備費、積卸し設備費の3項目の運転日数及び設備期間数量は、特記仕様書P57トンネル工の稼働率の補正を反映した場合、ダンプトラック運転費(補正前:約40ヶ月、補正後:約48ヶ月)、吹付設備費(補正前:約11ヶ月、補正後:約13ヶ月)、積卸し設備費(補正前:掘削単独11ヶ月+覆工単独1ヶ月、補正後:掘削単独13ヶ月+覆工単独1ヶ月)となると考えます。稼働率の補正について、4週8休実施後の協議にて設計変更の対象として考えてよろしいでしょうか。もしくは、週休2日推進工事に要する費用の項目に計上されていると考えてよろしいでしょうか。稼働率補正について、ご教示願います。	週休2日推進工事に要する費用の稼働率における補正は、単価項目及び割掛け項目すべての項目における機械経費(損料)を対象としています。その費用については週休2日推進工事に要する費用の項目に計上されます。
37	R3.9.27	03_特記仕様書 P59	32-1 設計図書の変更及び追加について 「(18)」	特記仕様書p59 32-1-(18) 「橋梁下部工近接施工箇所における高速道路上の仮設目隠板工の追加」とは、2つの橋梁の、どこの施工箇所を示すかご教示ください。	特記仕様書32-1設計図書の変更及び追加の内容についてはお答えできません。なお、これらに要する費用は監督員と受注者で協議し定めるものとしています。
38	R3.9.27	03_特記仕様書 P59	32-1 設計図書の変更及び追加について 「技術提案の評価項目」	⑥【特記仕様書】道東自動車道 新得工事 P59 「32-1設計図書の変更及び追加について」には、技術提案の評価項目に関わる事項が含まれていますが、これらの事項に関する提案も評価対象となるのでしょうか。	特記仕様書32-1設計図書の変更及び追加の事項に関する項目は技術提案の評価対象となりません。設計図書に基づく技術提案項目を作成ください。
39	R3.9.30	03_特記仕様書 P6	11-1 冬季休止期間 「橋梁下部工工事関連作業の作業・期間について」	特記仕様書11-1 冬季休止期間に示されている期間中に行えるペンケオタソイ川橋および広内川橋の橋梁下部工工事関連作業は、具体的にどの作業かご教授下さい。	特記仕様書11-1 冬季休止期間に示す冬季休止期間中に行うペンケオタソイ川橋および広内川橋の橋梁下部工工事関連作業は監督員が必要と認め冬季施工を指示した作業・期間であり、設計図書には費用は含まれておりません。 なお、監督員が冬季期間中の作業を指示した場合の費用については、監督員と受注者とで協議し定めるものとしています。
40	R3.10.29	04_金抜設計書 番号61	8-(2) 型わく T(L) 「数量」	8-(2) 型わく T(L) 単価項目数量では1,158m ² と記載されておりますが、設計図等の公告・閲覧資料で数量確認すると1,138.1m ² (トンネル覆工:734.4m ² +西側坑門工:403.7m ²)となります。記載されている数量内訳について、ご教示願います。	型枠 T(L)の数量は一般断面711.5m ² (拡幅部妻壁含まず)+西側坑門工403.7m ² =1115.2m ² となります。

工事名】道東自動車道 新得工事

番号	回答日	図書の区分	項目	質問事項	回答
41	R3.9.27	05_割掛対象表	軽量盛土工 「工事の内容」	軽量盛土工 割掛対象表には、軽量盛土工の壁面材設置時に必要となる足場工が計上されていませんが、今回の見積対象には含まず設計変更事項となるのでしょうか。今回、計上される場合は割掛け対象表に記載していただき足場工の数量をご教示願います。	軽量盛土工の壁面材設置工に関しては特記仕様書30-2-4軽量盛土工に記載のとおり、壁面材設置に関してすべての費用を含みますので、御社の施工計画に基づき必要な費用を計上してください。 なお、足場工が必要であれば、必要足場工の数量を算出の上、必要な費用を計上してください。
42	R3.10.21	05_割掛対象表	支保工 「橋梁下部工」	橋梁下部工 広内川橋8/108、23/108、36/108、49/108、ペンケオタソイ川橋6/69、51/69 割掛対象表 橋梁下部工の広内川橋A-1のウイング支保工、P-1、P-2、P-3の内空支保工及びペンケオタソイ川橋のA-1、A-2のウイング支保工が計上されていませんが、協議対象になるのでしょうか？	ウイング支保工は土木工事積算基準(令和3年度版(東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社))第13編コンクリート構造物10.支保工10-1(6)に記載のとおり各種型わくの支保工に含まれているため別途計上しておりません。 また、広内川橋、P-1、P-2、P-3は数量明細表に記載のとおり埋設型わくの施工とし、内空支保工は不要としています。 なお、監督員が必要と認めた場合は設計変更の対象となるものとお考えください。
43	R3.10.21	05_割掛対象表	目地材 「伸縮目地」	割掛工事【雑工事費】 割掛対象表の目地材費についてですが、ブロック積み工には「目地材」、擁壁工および大型ブロック積み工には「伸縮目地材」の記載があります。 割掛対象表の目地材とは、図面記載の「目地材」のみが対象なののでしょうか。それ以外も対象であればご教示願います。	割掛対象表の目地材費には「伸縮目地材」は含まれません。割掛対照表については後日、公告図書を訂正いたします。
44	R3.10.14	05_割掛対象表	仮設防護柵材運搬 「仮設防護柵工 設置工A」	特-(10)仮設防護柵工 設置工A 割掛項目において、仮設材運搬費に仮設防護柵材運搬費が含まれていないため、運搬費は本単価項目に含むと考えてよろしいでしょうか。運搬費について、ご教示願います。	特記仕様書30-8-4に記載のとおり、施工に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費を除く費用を含めて算出してください。
45	R3.10.14	05_割掛対象表	仮設防護柵材運搬 「仮設目隠板工 設置工A」	特-(11)仮設目隠板工 設置工A 割掛項目において、仮設材運搬費に仮設目隠板材運搬費が含まれていないため、運搬費は本単価項目に含むと考えてよろしいでしょうか。運搬費について、ご教示願います。	特記仕様書30-8-5に記載のとおり、施工に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費を除く費用を含めて算出してください。
46	R3.10.14	05_割掛対象表	仮設防護柵材運搬 「仮設目隠板工 設置工B」	特-(11)仮設目隠板工 設置工B 割掛項目において、仮設材運搬費に仮設目隠板材運搬費が含まれていないため、運搬費は本単価項目に含むと考えてよろしいでしょうか。運搬費について、ご教示願います。	特記仕様書30-8-5に記載のとおり、施工に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費を除く費用を含めて算出してください。

番号	回答日	図書の区分	項目	質問事項	回答
47	R3.10.29	06_設計図 1.位置図・ 平面図・縦断図・横断 図 18/54～ 54/54	横断図 「数量」	公告資料:設計図 横断図(1)～(37) 閲覧資料:道東自動車道トマムIC～十勝清水IC間道路 詳細設計 数量計算書 1工区土量計算書 公告資料:設計図 横断図(1)～(37) 閲覧資料:道東自動車道トマムIC～十勝清水IC間道路 詳細設計 数量計算書 1工区土量計算書 において、同一測点で発生数量が一致していません。 どちらが正しいのでしょうか。	設計図 位置図・平面図・縦断図・横断図 横断図(1)～ (37)【18/54～54/54】を正としてお考えください。
48	R3.10.29	06_設計図 2.橋梁下部 工(広内川橋) 1/108	数量総括表 「数量」	公告資料:橋梁下部工 広内川橋 数量総括表 閲覧:広内川橋数量総括表 公告資料(橋梁下部工:広内川橋数量総括表【1/108】) 閲覧資料(道東自動車道_広内川橋橋梁構造検討一下 部工数量計算書【広内川橋】数量総括表) の数量総括表の数量が一致していません。どちらが正 しいのでしょうか。ご教示願います。	設計図 橋梁下部工(広内川橋) 数量総括表【1/108】 を正としてお考えください。 なお、R3.10.6付け「質問書に対する回答」NO4について もご確認ください。
49	R3.10.6	06_設計図 2.橋梁下部 工(広内川橋) 6/108 ・59/108	橋梁下部工(広内川橋) 広内川橋(下り線)A-1橋 台構造図・広内川橋(下り 線)A-2橋台構造図 「コンクリート種別・数量」	8-(3)コンクリート A1-3 【設計図】橋梁下部工 広内川橋のA1橋台とA2橋台の 躯体部と底板部ではコンクリート配合が異なっておりま すが、底板部(24N/mm ²)の数量も本単価項目に含む と考えてよろしいでしょうか。底板部数量について、ご教 示願います。	広内川橋橋梁下部工におけるコンクリート種別と数量は 以下の通りです。 ・A1橋台【A1-3:397.7m ³ 】【B2-1:209.3m ³ 】 ・A2橋台【A1-3:758.2m ³ 】【B2-1:716.0m ³ 】 上記については後日、公告図書を訂正いたします。
50	R3.10.14	06_設計図 2.橋梁下部 工(広内川橋) 77/108 ・83/108	橋梁下部工(広内川橋) 広内川橋(下り線)A-1橋 台場所打ち杭詳細図 (1/2)・広内川橋(下り線) P-3橋脚場所打ち杭詳細 図(1/2) 「材料の仕様」	7-(1)基礎杭 場所打ちコンクリート杭(機械掘削、φ 1,200) 【設計図】橋梁下部工 広内川橋のA1橋台、P3橋脚場 所打ち杭詳細図では、コンクリート配合が底版・基礎杭: 24N/mm ² となっており、A1橋台構造図では、胸壁・豎 壁・翼壁・基礎杭:30N/mm ² と記載があり、P3橋脚構造 図には、基礎杭の記載はありません。 共通仕様書コンクリート種別において、場所打ち杭(人 力掘削を除く)はY1-1(30N/mm ²)になると思われます。 場所打ち杭コンクリートの配合について、ご教示願いま す。	場所打ちコンクリート杭(機械掘削)のコンクリート種別につ いては「共通仕様書」8-2-3 コンクリート種別 のY1 -1となり、材令28日における圧縮強度は30N/mm ² で す。その品質基準は「共通仕様書」に記載のとおり「コン クリート施工管理要領」4-1に記載されており、Y1-1 の圧縮強度は材令28日における圧縮強度は、水中割増 しを乗じた値であるため、設計基準強度としては、割り戻 した値の24N/mm ² です。
51	R3.10.29	06_設計図 2.橋梁下部 工(広内川橋) 88/108	広内川橋 仮橋計画図 (1/3) 「その他部材数量」	特-(12)仮設構造物工 仮橋設置A 【設計図】広内川橋 仮橋計画図(1/3)仮橋部材表の 土留め、その他部材(プレート、横矢板受け材)の数量 が0.442tとなっておりますが、広内川橋 仮橋下部工 詳細図(1, 8/8)の図面では0.685tであると思われま す。その他部材数量について、ご教示願います。	設計図 広内川橋 仮橋計画図(1/3)仮橋部材表の 土留 数量は0.502tとなります。

番号	回答日	図書の区分	項目	質問事項	回答
52	R3.10.29	06_設計図 3.橋梁下部 1/69 工(ペンケオタソイ川橋)	数量総括表 「数量」	公告資料:橋梁下部工 ペンケオタソイ川橋(下り線)数量総括表 閲覧:ペンケオタソイ川橋数量総括表(2) 公告資料(橋梁下部工:ペンケオタソイ川橋(下り線)数量総括表[1/69]) 閲覧資料(道東自動車道_ペンケオタソイ川橋橋梁構造検討-下部工数量計算書)【数量総括表(2)】 の数量総括表の数量が一致していません。どちらが正しいのでしょうか。ご教示願います。	設計図 橋梁下部工 ペンケオタソイ川橋(下り線) 数量総括表【1/69】を正としてお考えください。
53	R3.10.14	06_設計図 3.橋梁下部 63/69 工(ペンケオタソイ川橋)	橋梁下部工(ペンケオタソイ川橋) ペンケオタソイ川橋(下り線)P-2橋脚場所打ち杭詳細図(1/4) 「材料の仕様」	7-(1)基礎杭 場所打ちコンクリート杭(機械掘削, φ1,000) 【設計図】橋梁下部工 ペンケオタソイ川橋のP2橋脚場所打ち杭詳細では、コンクリート配合が、底板・基礎杭:24N/mm ² となっておりますが、共通仕様書コンクリート種別において、場所打ち杭(人力掘削を除く)はY1-1(30N/mm ²)になると思われまます。場所打ち杭コンクリートの配合について、ご教示願います。	場所打ちコンクリート杭(機械掘削)のコンクリート種別については「共通仕様書」8-2-3 コンクリート種別 のY1-1となり、材令28日における圧縮強度は30N/mm ² です。その品質基準は「共通仕様書」に記載のとおり「コンクリート施工管理要領」4-1に記載されており、Y1-1の圧縮強度は材令28日における圧縮強度は、水中割増しを乗じた値であるため、設計基準強度としては、割り戻した値の24N/mm ² です。
54	R3.10.29	06_設計図 3.橋梁下部 69/69 工(ペンケオタソイ川橋)	ペンケオタソイ川橋(下り線)P-2橋脚洗掘防止対策工 「コンクリート殻」	特-(9) 洗掘防止対策工 A 【設計図】ペンケオタソイ川橋(下り線)P-2橋脚洗掘防止対策工の数量表に記載されている、率計上に含まれていないコンクリート取壊し(I 基線P3橋脚部)で発生するコンクリート殻について、積込運搬・処分費は本単価項目に含むと考えてよろしいでしょうか。ご教示願います。	そのとおりです。
55	R3.10.14	06_設計図 3.橋梁下部 69/69 工(ペンケオタソイ川橋)	橋梁下部工(ペンケオタソイ川橋) ペンケオタソイ川橋(下り線)P-2橋脚洗掘防止対策工 「構造物掘削等」	特-(9)洗掘防止対策工 A 【設計図】ペンケオタソイ川橋(下り線)P-2橋脚洗掘防止対策工の数量表に記載されている新設P2橋脚部:構造物掘削32.6m ³ と埋戻し20.4m ³ の差分で発生する土砂は、①はねつけ現場処理、②P2橋脚の構造物掘削と同じ処理、どちらでお考えでしょうか。ご教示願います。	ペンケオタソイ川橋橋梁下部工(P2橋脚)構造物掘削と同じ処理と考えております。
56	R3.10.14	06_設計図 3.橋梁下部 69/69 工(ペンケオタソイ川橋)	橋梁下部工(ペンケオタソイ川橋) ペンケオタソイ川橋(下り線)P-2橋脚洗掘防止対策工 「鋼矢板引抜き」	特-(9)洗掘防止対策工 A 【設計図】ペンケオタソイ川橋(下り線)P-2橋脚洗掘防止対策工の数量表に記載されている既設P3橋脚部:鋼矢板引抜きで発生する鋼矢板はスクラップ処分と考えて宜しいでしょうか。ご教示願います。	洗掘防止対策工 Aの単価には、鋼矢板引抜きで発生する鋼矢板の売却処分、運搬等は含まれておりません。
57	R3.10.14	06_設計図 3.橋梁下部 69/69 工(ペンケオタソイ川橋)	橋梁下部工(ペンケオタソイ川橋) ペンケオタソイ川橋(下り線)P-2橋脚洗掘防止対策工 「セメントミルク注入工」	特-(9)洗掘防止対策工 A 【設計図】ペンケオタソイ川橋(下り線)P-2橋脚洗掘防止対策工の注意事項に「既設鋼矢板引抜き後、周辺の地盤変状に考慮しセメントミルクを注入すること」との記載があります。(設計図の数量表には未記載) この単価項目内にセメントミルク注入工の計上の有無及び数量・配合について、ご教示願います。	洗掘防止対策工 Aの単価には、セメントミルク注入工は含まれておりません。監督員が必要と指示した場合には、設計変更の対象となります。

番号	回答日	図書の区分	項目	質問事項	回答
58	R3.10.21	06_設計図 5.附帯工・ 雑工 10/40・ 11/40	高盛土詳細図 「高盛土動態観測」	参考図 高盛土詳細図(1)平面図(10/40)、高盛土詳細図(2)横断図(11/40) 高盛土動態観測について、高盛土詳細図(1)平面図と高盛土詳細図(2)横断図でクロスアーム沈下計、地中変位計、地下水位計の計測測点、高さ(H)、計測箇所数で図面の相違が御座います。どちらの図面が正しいか、ご教示願います。	高盛土詳細図(1)に記載の値が正しい値となります。
59	R3.10.29	06_設計図 5.附帯工・ 雑工 10/40・ 11/40	高盛土詳細図 「高盛土動態観測」	下記、図面の差異が見られます。どちらが正でしょうか。 高盛土詳細図(1)平面図(10/40) 側線 STA.1145+20 クロスアーム沈下計:H=12.1m 測定箇所3点 地中変位計:H=12.1m 地下水位計:H=8.9m 高盛土詳細図(2)横断図(11/40) クロスアーム沈下計:H=10.3m 測定箇所2点(STA.1141+70) 地中変位計:H=10.3m(STA.1141+70) 地下水位計:H=4.6m(STA.1141+60)	高盛土詳細図(1)に記載の値が正しい値となります。 なお、R3.10.21付け「質問書に対する回答」①No7と同じになります。
60	R3.10.29	06_設計図 5.附帯工・ 雑工 10/40・ 11/40	高盛土詳細図 「高盛土動態観測」	下記、図面の差異が見られます。どちらが正でしょうか。 高盛土詳細図(1)平面図(10/40) 側線 STA.1146+80 クロスアーム沈下計:H=8.0m 測定箇所2点 地中変位計:H=8.0m 地下水位計:H=2.8m 高盛土詳細図(2)横断図(11/40) 側線 STA.1146+80 クロスアーム沈下計:H=9.5m 測定箇所2点 地中変位計:H=9.5m 地下水位計:H=9.5m	高盛土詳細図(1)に記載の値が正しい値となります。 なお、R3.10.21付け「質問書に対する回答」①No7と同じになります。
61	R3.10.21	06_設計図 5.附帯工・ 雑工 5/40～ 8/40	ブロック積工詳細図(1)～ (4)・大型ブロック積工詳細 図 「裏込め砕石」	参考図 ブロック積工詳細図(1)～(4) 大型ブロック積工詳細図 特記仕様書P22 ブロック積工で使用する裏込め砕石について、特記仕様書においては単価表の項目【裏込め砕石】には再生砕石を使用。 ブロック積工詳細図(2)は0-80mmの記載しかありませんが、裏込め砕石工においては全て再生砕石0-80、0-40で計上してよろしいでしょうか。ご教示願います。	そのとおりです。
62	R3.10.21	06_設計図 5.附帯工・ 雑工 8/40	ブロック積工詳細図(4) 「胴込コンクリート」	参考図 ブロック積工詳細図(4)図面【8/40】 コンクリート断面図に胴込コンクリートと記載がありますが、材料表に胴込コンクリートの数量の記載がありません。設計数量をご教示願います。	胴込コンクリートは共通仕様書4-17-6支払に記載のとおり含まれますので、胴込コンクリートの数量については設計図書に基づき算出してください。

工事名】道東自動車道 新得工事

番号	回答日	図書の区分	項目	質問事項	回答
63	R3.10.21	07_数量明細表 (3/7)	擁壁工 「コンクリート A1-3」	数量明細表(3/7) 参考図: 広内川橋A2橋台 擁壁工一般図(1) 数量明細表で、擁壁工:A1-3の設計数量が152.7m3と記載されておりますが、図面数量が155.7m3と異なります。どちらが正でしょうか。ご教示願います。	広内川橋A2橋台 擁壁工一般図(1)に記載の数量152.7m3が正となります。
64	R3.10.21	07_数量明細表 (3/7)	擁壁工 「コンクリート B2-1」	数量明細表(3/7) 参考図: 広内川橋A2橋台 擁壁工一般図(1) 数量明細表で、擁壁工:B2-1の設計数量が173.1m3と記載されておりますが、図面数量が224.1m3と異なります。どちらが正でしょうか。ご教示願います。	広内川橋A2橋台 擁壁工一般図(1)に記載の数量173.1m3が正となります。
65	R3.10.29	08_割掛対象表参考内訳書	鏡吹付けコンクリート 「数量内訳(参考)」	12-(1) トンネル掘削 割掛項目において、鏡吹付けコンクリートA1~3・B1が計上されておりますが、設計図の支保パターン延長より算出しますと、A1(t=2.5cm):28,600m2は31,100m2(+2,500m2)、A2(t=4cm):10,800m2は8,400m2(-2,400m2)になると思われま。吹付け面積数量について、ご教示願います。	「割掛対象表 参考内訳書」に記載されている「鏡吹付けコンクリートA1」は約26,800㎡、「鏡吹付けコンクリートA2」は約10,800㎡となります。なお、設計図の支保パターン延長から各支保パターンの1屈伸長毎に鏡吹付けコンクリートを行うものとし算出し、補助工法施工時の鏡吹付け数量を控除した数量を算出しております。
66	R3.10.6	08_割掛対象表参考内訳書	くい頭処理費 「積込運搬・処分費」	7-(1) 基礎杭 場所打ちコンクリート杭 割掛項目において、くい頭処理費(はつりに要する費用)が計上されておりますが、はつり殻の積込運搬・処分費は本単価項目に含むと考えてよろしいでしょうか。ご教示願います。	くい頭処理費には建設副産物となるコンクリート塊の処分等に要する積込運搬、処分等すべての費用を含みます。
67	R3.9.27	08_割掛対象表参考内訳書	工事用進入路設置撤去 「工事の内容」	準備工事費の工事用進入路設置撤去において、 ① 大型土のう及び盛土に使用する土砂の発生場所からの運搬費は計上することよろしいでしょうか。 ② 計上する場合、土砂の発生場所をご教示願います。 ③ 工事用進入路撤去で発生する土砂は下部路体部への流用と考えてよろしいでしょうか。	御社の施工計画に基づき必要な費用を計上してください。 なお、大型土のう及び盛土に使用する土砂に現地発生土を使用する場合は、同箇所の現地発生土を本線部へ流用する場合の運搬費との差分を計上してください。
68	R3.9.27	09_参考図 28/56	参考図 ペンケオタソイ川橋(下り線) P-1橋脚仮設図(6/7)(参考図) 「継手」	設計図書 ⑩-1【参考図】道東自動車道 新得工事 28/56 ペンケオタソイ川P1橋脚仮設図のCASE3(継手無し)の橋軸直角方向の一部が空頭制限範囲内にあると思われま。他の計画と同様に継手の計画がされておりますが、設計変更対象となるのでしょうかご教示願います。	設計図書のとおり計上ください。 なお、監督員が必要と認めた場合は変更協議の対象となります。
69	R3.10.21	09_参考図 33/56	参考図 ペンケオタソイ川橋(下り線) A-2橋台仮設図(3/5)(参考図) 「N値」	設計図書⑩-2 33/56 A-2橋台仮設図(3/5)(参考図) ペンケオタソイ川橋(下り線)において、地中のN値は最大50/3と記載されています。一方で、令和元年度 道東自動車道 ペンケオタソイ川橋橋梁構造検討 下部工仮設工検討書p.438では、最大N値が177.5となっております。どちらのN値を想定されているのでしょうか。ご教示願います。	A-2橋台仮設図(3/5)(参考図)ペンケオタソイ川橋(下り線)の地中のN値は最大50/3を想定しています。 なお、下部工仮設工検討書に記載されている中風化部代表N値177.5は設計上の土質定数の設定における換算N値となります。

工事名】道東自動車道 新得工事

番号	回答日	図書の区分	項目	質問事項	回答
70	R3.10.5	09_参考図 33/56	参考図 ペンケオタソイ川橋(下り線) A-2橋台仮設図 (3/5) (参考図) 「交通規制が必要な作業」	設計図書 ⑩-2【参考図】道東自動車道 新得工事 33/56 ペンケオタソイ川橋 A2橋台仮設図の仮設(山留)施工手順において、2)鋼矢板打設や16)鋼矢板引抜き時は、供用中路線の路肩規制を行い、施工することを想定されているのでしょうかご教示願います。	特記仕様書21-3 交通規制に記載のとおり、ペンケオタソイ川橋 A2橋台仮設図の仮設(山留)施工手順における、2)鋼矢板打設や16)鋼矢板引抜き時は、設計図書においては交通規制の対象としておりません。 なお、特記仕様書21-3に記載のとおり、今後実施する道路交通法第80条の規定に基づく協議により設計図書に変更が生じた場合、受注者はこれに従うものとし、これに要する費用は監督員と受注者で協議し定めるものとしています。
71	R3.10.21	09_参考図 34/56	参考図 ペンケオタソイ川橋(下り線) A-2橋台仮設図 (4/5) (参考図) 「継ぎ」	設計図書⑩-2 34/56 A-2橋台仮設図(4/5) (参考図) ペンケオタソイ川橋(下り線)において、鋼矢板(NS-SP-J型)の溶接継ぎ箇所の明示がありますが、建込中に縦継ぎする方法と陸上であらかじめ溶接継ぎをしてから建て込む方法とがありますが、どちらを想定されているのでしょうか。ご教示願います。	御社の施工計画に基づき計上してください。